

チェックリストを活用した早期発見・早期対応の方法

学校に情報が流れるシステムをつくれる、チェックリストを活用した早期発見・早期対応の方法を以下に示す。

(1) チェックリスト活用モデル案

チェックリストの活用方法を共通理解する。

* 校内研修などの場を利用する。

定期的に活用する。

* 不登校が発生しやすい学年・学期当初は、必ず実施する。

* 学校全体・学年全体で一斉に実施する。

サインを発している子どものチェックをする。

* チェックが多かったり、程度が重いつ感じられたりするような子どもをリストアップする。

情報を共有化する場を設定する。

* 学年会、職員会議、校内研修などの機会を利用する。

具体的な対応策を考えて、実践する。

* 不登校の兆候が発見され、支援が必要と考えられる場合は、学年会、不登校対策会議等で情報を集め、対応策を考え、実践する。

* 報告書 の7「不登校のサインに応じた対応策・支援策」を参考にする。

* 資料編「不登校の予防を目指す発達段階に応じた支援」を参考にする。

* 子どもの実態から組織による支援が必要と考えられる場合は、チームで支援する。

* 資料編「組織による早期対応展開モデル案」参照。

チェックリスト活用上の留意点

- チェックリストで、リストアップされた子どもについては、本人との相談の機会を早めにつくる。
- 学級担任が実施するだけでなく、教科担任や養護教諭等も活用しながら、複数の目で観察できるような工夫も必要である。
- 情報交換の場にリストアップされなくてもチェックされる項目が見られるような子どもがいる場合は、他の教師のからの情報・意見も参考にしながら、本人の様子・行動等を見つめ直してみる。
- 項目に沿って、きめ細かく観察することで、子どもの精神面・心理面の健康度がチェックできるので、子どもへの対応に柔軟に活用する。

(2) 不登校（長期欠席）早期発見チェックリスト

早期発見のチェックリスト（小学校低学年）

分 類	サ イ ン	はい	いいえ	わからない
症状化 身体面	トイレに行く回数が増える。			
	下痢・発熱がある。			
	頭痛、腹痛、おう吐がある。			
症状化 心理面	笑顔が消え、ささいなことで泣く。			
	作業が雑で遅くなる。			
	机の周りが散らかる。			
	教師にまとわりつく。			
	学校が嫌な理由を聞くと「いじめられた」とか「どこか痛い」と繰り返す。			
行動化 外向性	少しのことでかっとなる。友だちに乱暴になる。			
	強く注意すると相手の欠点を言う。			
行動化 内向性	無口になる。			
	やりたくないことは避ける。			
	元気にあいさつができない。			
	外遊びが苦手で友だちの輪に入れない。			
	休み明けに登校を渋るようになったり、兄弟が休むと自分も休むと言うようになる。			
	学校にいても家に帰りたと言う。			
	母親と離れると不安を訴える。			

発達課題を考慮したサイン

早期発見のチェックリスト（小学校中学年）

分 類	サ イ ン	はい	いいえ	わからない
症状化 身体面	トイレに行く回数が増える。			
	朝食・給食などがとれなくなる。			
	頭痛・腹痛・おう吐を訴える。			
症状化 心理面	表情が暗く、元気がなくなる。			
	うつむいて歩く。			
	ことばをかけても反応がない。			
	人の顔を真っ直ぐ見ないでおどおどする。			
	何かと職員室に顔を出すようになる。			
行動化 外向性	小さいことでも教師に告げ口をする。			
	下級生と遊ぶようになる。			
行動化 内向性	遊びの仲間に加わらない。			
	グループ作業に加わらない。			
	物事に対して失敗を恐れ尻込みしてしまう。			
	友だちつきあいが上手いかず、親しい友だちが作れない。			
	学習に対して意欲がなくなり、忘れ物も多くなる。			

発達課題を考慮したサイン

早期発見のチェックリスト（小学校高学年）

分 類	サ イ ン	はい	いいえ	わからない
症状化 身体面	トイレに行く回数が増える。			
	体の不調を訴え、保健室によく行く。			
	朝食・給食などがとれなくなる。			
	頭痛・腹痛・おう吐を訴える。			
症状化 心理面	表情が暗く、元気がなくなる。			
	人の顔を真っ直ぐ見ないでおどおどする。			
	何かと職員室の周りをうろうろするようになる。			
	人がほとんど気にもかけないことをひどく気にする。			
	プライドが高く、失敗を極端に恐れる。			
行動化 外向性	わざとらしい振る舞いをして目立とうとする。			
	投げやりな態度をとる。			
	時間や決まりを破る。			
	言葉が乱暴になる。			
	教師におべっかを使う。			
	教師の発言を無視する。			
行動化 内向性	笑うことが少なくなったり、無口になったりする。			
	生あくびが多く、だるそうな感じである。			
	休み時間は、一人でいることが多い。			
	忘れ物が増える。			
	やらなければならないことがあるのに、逃げてしまう。			
	人との接触に消極的となり、親密な人間関係が築けない。			

発達課題を考慮したサイン

早期発見のチェックリスト（中学校）

分 類	サ イ ン	はい	いいえ	わからない
症状化 身体面	体調不良を訴えて、保健室によく行く。			
	頭痛・腹痛・おう吐を訴える。			
	朝食や給食があまり食べられない。			
症状化 心理面	何かと職員室の周りをうろうろするようになる。			
	神経過敏で、急に明るくなったり、急に泣き出したりと感情の起伏が激しくなる。			
	人の顔を気にする。			
	うわさを気にする。			
	人の目を気にして外見にこだわる。			
行動化 外交性	やけを起こして、行動が荒っぽくなる。			
	服装・持ち物・頭髪・言動等が目立つようになる。			
	乱暴・規則に反する行為が目立つようになる。			
	卒業生や先輩・後輩との交際が目立つようになる。			
行動化 内向性	特定の授業、特定の曜日の欠席が増えてくる。			
	遅刻・早退が目立つようになる。			
	休み時間、廊下や階段で一人で過ごすことが多くなる。			
	無口で、表情の変化が乏しくなる。			
	疲れた表情で、ねむそうで、だるそうなことが多く、動作も緩慢な様子が目立ってくる。			
	成績が下がり、学習に対してやる気がみられない。			
	自分の気持ちを表現しなくなる。			
	部活動をやめたり、休んだりする日が増えてくる。			

発達課題を考慮したサイン

早期発見のチェックリスト（高等学校）

分 類	サ イ ン	はい	いいえ	わからない
症状化 身体面	体調不良を訴えて、保健室によく行く。			
	頭痛・腹痛・おう吐・下痢を訴える。			
症状化 心理面	人の目を気にする。			
	潔癖性で手洗いなど、ささいなことにこだわるが多くなる。			
	対人不安が強くなる。			
行動化 外交性	無断欠席・無断早退、体育の授業の欠課が増える。			
	バイクや車に関心をもつ。			
	異性或学校外の交友関係が広がる。			
	学校（先生、友人、学習）に対して批判的になる。			
	自分の考えと違う意見にむきになって反論する。			
行動化 内向性	連絡の入らない欠席、特定の授業、曜日の欠席が増える。			
	学習に対する意欲がなくなる。			
	部活動をやめたり、休んだりする日が増えてくる。			
	集団活動に参加しないことがある。			
	友だちから孤立し、休み時間は離れたところで過ごす。			
	進路選択で投げやりな態度をとることがある。			
	教師との接触を避ける。			
	服装に無頓着になる。			

発達課題を考慮したサイン

不登校や不登校の兆候が発生しやすい時期には、その時期特有のサインが出ると思われる。そこで、それらを加味した、チェックリストを作成することができる。以下に、その例として、「中学1学の夏休み明け用」のチェックリストを示す。

早期発見のチェックリスト(中学 1 年の夏休み明け用)

分 類	サ イ ン	はい	いいえ	わからない
症状化 身体面	夏休み後、頭痛・腹痛を訴えることが多くなる。			
	登校後、暑くて気持ち悪い、だるいなどを理由に保健室に行くことが増える。			
症状化 心理面	2 学期になって、表情が暗く、不安そうだ。			
	1 学期よりそわそわしたり、周囲を必要以上に気にするなど落ち着きがなくなる。			
	休み時間になると、職員室の周りを、意味もなくうろうろしている。			
行動化 外交性	夏休み後、学校外の友達が増え、遊び中心の生活になる。			
	外泊することが増える。			
	新学期になって、服装や頭髪が見た目にも派手になる。			
行動化 内向性	小学校の時、不登校の経験があるか、不登校の兆候が見られた。			
	土、日など、休み明けの欠席が目立つようになる。			
	夏休みの宿題をやってこないなど、学習に対してやる気が見られなくなる。			
	部活動をやめたがるようになる。			
	1 学期仲のよかった友達と離れ、一人でいることが多くなる。			